

鹿兒島工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	中国文化	
科目基礎情報					
科目番号	0071	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	機械工学科	対象学年	4		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	日中いぶこみ広場 朝日出版				
担当教員	張 紹好				
到達目標					
1.発音、ピンインをマスターする。 2.基本文法と基本単語を理解できる。 3.日常の会話表現を理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	標準的な発音ができ、ピンインを 読んで書ける。	標準的な発音ができ、ピンインを 読める。	標準的な発音も、ピンインも読 めない。		
評価項目2	基本的な文法事項と単語を理解し て、会話に応用できる。	基本的な文法事項と単語を理解で きる。	基本的な文法事項と単語を理解し ていない。		
評価項目3	日常に多用される会話表現を理解 し、会話に応用できる。	日常に多用される会話表現を理解 できる。	日常に多用される会話表現を理解 できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育プログラムの学習・教育到達目標 2-3 教育プログラムの学習・教育到達目標 4-3 本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標 4-b JABEE 1(2)(a) JABEE 1(2)(f) 教育プログラムの科目分類 (1)② JABEE (2012) 基準 1(2)(a) JABEE (2012) 基準 1(2)(f)					
教育方法等					
概要	第二外国語中国語のコミュニケーション能力に必要な基礎文法知識を習得する。				
授業の進め方・方法	発音、会話を中心に練習し、基本会話へと進みます。教師が範読をします。自己紹介、会話と歌の練習、発表もします あと日常会話での決まり文句を中心に練習し、暗唱します。				
注意点	①本科目は学修単位 (講義Ⅱ) 科目であるため、指示内容について210分程度の自学自習 (予習・復習) を欠かさないこ と。 ②授業中の聞き、話す、コミュニケーションの対話などが何度も音読すること。 ③学生の学習状況によって内容を調整することがある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 基礎発音練習Ⅰ	<input type="checkbox"/> ①ピンイン表記の原則 ②母音 ③子音+母音 ④声調 (四声)	
		2週	2. 基礎発音練習Ⅱ	<input type="checkbox"/> ①有気音と無気音 ②複韻母 ③鼻音を伴った韻母	
		3週	3. 文の組み立て (名詞述語文)	<input type="checkbox"/> 名詞述語文を理解し、正しく使用することができる。	
		4週	4. 文の組み立て (指示代詞)	<input type="checkbox"/> 指示代詞を理解し、正しく使用することができる。	
		5週	5. 文の組み立て (形容詞述語文) 6. 復習、応用問題ほか	<input type="checkbox"/> 形容詞述語文の組み立て、形容詞を理解し正しく使 用することができる。 授業項目 1～5 について復習する。	
		6週	7. 文の組み立て (助詞)	<input type="checkbox"/> 助詞「的」を理解し、正しく使用することができる。	
		7週	8. 存在表現Ⅰ	<input type="checkbox"/> 数詞、量詞や語法を理解し、正しく使用することが できる。	
		8週	9. 存在表現Ⅱ	<input type="checkbox"/> 存在動詞を理解し、正しく使用することができる。	
	2ndQ	9週	10. 時間表現	<input type="checkbox"/> 時刻、日付、曜日の言い方や語法を理解し、正しく 使用することができる。	
		10週	11. 文の組み立てⅠ	<input type="checkbox"/> 肯定文、否定文を理解し、正しく使用することがで きる。	
		11週	12. 文の組み立てⅡ	<input type="checkbox"/> 疑問文、反復疑問文、選択疑問文を理解し、正しく 使用することができる。	
		12週	13. さまざまな表現	<input type="checkbox"/> さまざまな表現を正しく使用することができる。	
		13週	14. 可能表現Ⅰ	<input type="checkbox"/> 可能の「能」を理解し、正しく使用することができ る。	
		14週	15. 可能表現Ⅱ 16. 総合復習、応用問題ほか	<input type="checkbox"/> 可能の「会」を理解し、正しく使用することができ る。 <input type="checkbox"/> これまでに学習した重要表現を正しく使用すること ができる。	
		15週	答案返却・解説	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握 する (非評価項目)。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	30	0	10	0	10	100
基礎的能力	50	30	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0